ISSN 0919-4657

# KONC

# 関西自然保護機構会報

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

15巻2号（通算26号）

特集●シンポジウム・絶滅のおそれのある生物種の保護とは何か



1993年12月
関西自然保護機構

## 表紙の言葉

池原　貞雄

大阪出身で西表島に住み着き，長年にわたって西表島の野生動物の写真を撮り続けて来た動物写真家村田行氏が，西表島西部の船浦地区で，夜間撮影した写真である。写真からも，イリオモテヤマネコは，ツシマヤマネコよりも体色が暗色で，体形が引きしまってスマートであると感得される。首の部分を見ると首輪が着けられている。その首輪には電波発信器がとり着けられ，それから発送される電波は受信器でキャッチされる。キャッチされた電波によってそのヤマネコの居る場所，活動状況などが判断できる。ヤマネコにとっては，邪魔者が首にとり着けられ，自分の居場所や行動などが追跡されるのは，迷惑なことだろう。これまでの人間のさまざまな営みによって，ヤマネコたちに迷惑をかけ，ヤマネコたちを絶滅の危機に追いやったことを深く反省し，ヤマネコと人間との共存を図る方途を探るための基礎資料を収集しているところである。ヤマネコには済まないが，いましばらく辛抱して欲しい。

**関西自然保護機構**（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCはなんらかの形で，専門家として自然環境保護にかかわる人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1．　基礎研究の実施
2．　シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．　現地見学会の開催
4．　研究助成金の交付
5．　会報・連絡紙の発行
6．　自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．　自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．　国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・推持会員の会費により，まかなわれています。